令和5年8月期 定例教育委員会議

- ・開催日時 令和5年8月25日（金） 午前10時00分から
- ・開催場所 羽曳野市役所 別館3階 特別会議室
- ・出席者
教育長 村田明彦
教育長職務代理者 奥野貞一
委員 多田謙司
委員 新熊和彦
委員 古山美穂
- ・説明者
教育監 堂山浩三
学校教育部長兼食育・給食課長 森井克則
生涯学習部長兼生涯学習課長 田中直明
兼市民大学事務長
学校教育部長 黒木 悟
学校教育課長 伊藤 圭
スポーツ振興課長 梁川泰延
こども保育課長 吉井裕子
食育・給食課課長補佐 高岡直史
- ・事務局
教育政策課長 寺元麻子
教育政策課課長補佐 萬田正英
- ・議事日程
 - 日程第1 会議録署名委員の指名について
 - 日程第2 教育長月次報告
 - 日程第3 議案第25号
令和5年度羽曳野市一般会計補正予算（第5・6号）（教育委員会関係）（案）について

- 日程第4 議案第26号
後援名義の使用許可について
- 日程第5 議案第27号
令和6年度はびきの埴生学園（小規模特認校）の新入学
児童生徒（1年生・7年生）の他校区からの募集定員数
について
- 日程第6 議案第28号
羽曳野市立生活文化情報センターのエアコン等の取得について
- 日程第7 議案第29号
工事請負契約の締結について（羽曳野市立誉田中学校
プール改修工事）
- 日程第8 議案第30号
羽曳野市中学校給食 全員喫食に向けた基本的な考え方
（素案）について
- 日程第9 議案第31号
（仮称）第3こども園整備基本計画の策定について
- 日程第10 その他
・日程調整など

開会：午前10時00分

[教育長 開会の挨拶]

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長において、多田委員を指名しました。

日程第2 教育長月次報告

教育長から次のとおり口頭にて報告がありました。

- (1) 7月30日に、羽曳野市中学校総合体育大会開会式が行われました。
- (2) 8月3日に、教職員全体研修会が行われました。
- (3) 8月4日に、埴生幼稚園増築竣工セレモニーが行われました。
- (4) 8月7日に、教育委員と校長との懇談会が行われました。
- (5) 8月8日に、第1回羽曳野市教育改革審議会が行われました。
- (6) 8月17日に、教頭研修会が行われました。
- (7) 8月18日に、校長研修会が行われました。
- (8) 8月19日に、庁舎建替え市民ワーキングが行われました。
- (9) 8月23日に、令和5年度南河内地区市町村教育長協議会夏季研修会が行われました。

日程第3 議案第25号

令和5年度羽曳野市一般会計補正予算（第5・6号）（教育委員会関係）（案）について

《教育長》

事務局の各課より説明をお願いします。

全ての説明終了後、一括して質問をお受けいたしたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

《教育政策課長》

お手元の資料「令和5年度一般会計補正予算【第5号】（案）教育委員会関係（案）をご覧ください。

補正予算額は、歳出4,047,000円です。補正内容は、設計委託料となっております。

ますが、これは羽曳野市立中学校配膳室等改修工事实施設設計業務にかかる委託料となります。

中学校給食は、令和7年2学期からの全員喫食開始に向け、令和6年度、7年度の2か年の夏休み期間に集中した配膳室等の工事を予定しております。

この度の補正は、令和6年度と令和7年度の2か年に渡る工事が必要となる、誉田中学校、高鷲中学校、峰塚中学校、河原城中学校の4校の令和6年度工事に係る施設設計委託の経費となります。

工事内容としましては、搬入口の段差解消工事や配膳室新設に伴う教室の移動や改修などです。

学校施設整備に係る業務のため、教育政策課から議案の提出をしております。

説明は以上です。ご審議の程、宜しく申し上げます。

《スポーツ振興課長》

生涯学習課とスポーツ振興課に分かれておりますが、補正計上の理由が同一ですので私の方からまとめて説明させていただきます。

まず新型コロナ対策に伴う補填の方ですけれども、市の公共施設の貸館業務におきまして、本来、館によって異なりますが1ヶ月前とか1週間前から予約のキャンセル料が発生しますが、新型コロナの感染対策としまして、令和4年度の7月28日から9月27日、12月27日から1月31日までの約3ヶ月間、キャンセル料を無料とする対応をとりました。これに伴う指定管理者へのキャンセル料相当分の補填となります。

生涯学習課の269,000円はLICはびきのになります。また、スポーツ振興課は、総合スポーツセンターはびきのコロセアムになりますが91,000円(90,853円)、スポーツ施設管理82,000円と記載していますのは、市民体育館と屋外テニスコートとして約76,000円、グレープヒルスポーツ公園約2,500円、駒ヶ谷テニスコート2,600円の4施設の合計額を計上しているものです。

次に、電気料金等価格高騰に伴う補填についてですが、こちらについては燃料価格の高騰などを受け電気、ガス料金の高騰が続いている現状を踏まえ、令和4年度の電気・ガス料金の不足額について、一部補填を行うものです。

補填額算定の概要ですが、指定管理者における収支予算書の光熱水費の予算上、赤字となった場合に対象としています。黒字の場合は、対象外ということになります。令和4年度の指定管理料を算定しました平成28年度～平成30年度の電気・ガスの単価の平均に対し、令和4年度の単価の増加率を算定し、それから物価変動リスクは指定管理者としているため、一般的な物価変動リスクとして、電気3.9%、ガス：3.0%を差し引いた率に使用量、ボリュームを乗じて算出しています。

それに基づき算定しました補填額は、生涯学習課の8,047,000円はLICはびきのになります。スポーツ振興課は、総合スポーツセンターはびきのコロセアムが10,956,000円、スポーツ施設管理413,000円と記載していますのは、市民体

育館と屋外テニスコートとなります。なお、グレープヒルスポーツ公園や駒ヶ谷テニスコートについては、光熱水費が赤字となっておりますので補填の計上はしておりません。

以上です。

《古山委員》

指定管理というのは、委託しているということですか。電気料金等の高騰などの場合、補填してもらえるのですか。

《スポーツ振興課長》

指定管理者に公共施設の管理運営を委託していますが、その場合協定を結んでおります。その協定の中で、リスク分担を決めており、台風などの自然災害といった不可抗力については基本的に市が負担する。電気やガスといった物価変動については、指定管理者が負担するといったように決めています。その中で、今回の新型コロナのキャンセル料につきましては、市の方からこの期間は、キャンセル料を取らないようにしてくださいと指定管理者に指示していることもありますし、電気料金等については、一般的な物価変動を大きく超える高騰となっておりますので、そこについては、行政、市の方でリスクを負担しようという考え方で今回、補填を計上させてもらっているという形になります。

《多田委員》

今回、令和4年度分ということですが、現状を踏まえると、今後も同じように補填することになるのですか。

《スポーツ振興課長》

電気、ガス料金については、政府の補助が9月まであるものの令和5年度においても算定時に比べ大きく高騰している状況ですので、再度、補填を行う可能性は高いと考えています。また、令和5年度からは下水道料金が値上げされたこともありますので、それも含め検討しないといけないとは考えています。

《多田委員》

もちろん市の負担も必要なのでしょうけど、やっぱり利用者にも負担ということで、利用料の値上げなどは。

《教育長》

条例で各施設は、この料金までという上限を設定しています。

《スポーツ振興課長》

各公共施設の条例において利用料の上限を規定しています。その上限以下で指

定管理者は利用料を決定し、この金額でいいですかと市の承認を受ける仕組みとなっています。LICはびきのについては、現状の料金は上限まで余裕がありますが、スポーツ施設は上限額と同額の利用料となっていますので、市議会において条例の改正案を提出し、利用料の上限を上げる条例改正を行わなければ利用料を上げることはできない状況です。

《教育監》

使用料手数料については、市の大きな考え方の一つに、4年に一度、総点検して見直しをかけています。その時に住民票の手数料から始まり色々な手数料や使用料が今の情勢にあっているかどうかチェックしています。今後の収益なども考え議論することになっております。

【採 決】全委員一致により原案どおりに可決することに決定しました。

日程第4 議案第26号

後援名義の使用許可について

- スポーツ振興課長より、後援名義の使用許可について説明があり承認を求めました。

《スポーツ振興課長》

資料としまして、新規申請調書、収支予算書、パンフレットをつけています。大相撲冬巡業、羽曳野場所を今年の12月19日の火曜日に、はびきのコロセアムにおいて開催する予定となっており、これについての後援名義の申請となります。本事業については、教育委員会だけでなく、市の後援名義の申請もされております。

令和元年の7月にもはびきのコロセアムにおいて夏巡業として羽曳野場所を開催しており、4年ぐらいいぶりの開催となりますが、大相撲協会から委託されております幹事元が株式会社百点と前回と異なっていることもあり、新規として申請を受け付けております。

概ね3,600席ぐらいのチケット販売を9月から行う予定となっています。開催にあたって、大阪はびきの観光局と調整し地域の物産販売などのブースも出店する方向で、地域のPR等も含めて取り組んでいきたいと聞いています。また、児童養護施設に無料チケット配布する方向で進めています。

以上、ご審議をよろしく申し上げます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【採 決】全委員一致により原案どおりに可決することに決定しました。

日程第5 議案第27号

令和6年度はびきの埴生学園（小規模特認校）の新入学児童生徒（1年生・7年生）の他校区からの募集定員数について

- 学校教育課長より、令和6年度はびきの埴生学園（小規模特認校）の新入学児童生徒（1年生・7年生）の他校区からの募集定員数について説明があり承認を求めました。

《学校教育課長》

お手元の資料をご覧ください。小規模特認校制度に係る概要と今後の方針についての資料となっております。

まず、令和6年度小規模特認校の募集についてをご覧ください。

その1では、本制度導入の流れを記しております。

現在、市内全域から児童・生徒が就学できるよう「小規模特認校」としての条件整備を行っております。そのことによって、児童・生徒数の増加を図り、学園教育の活性化を図っているところです。

その2とその3では、これまでの経緯と目的を記しております。

その4で就学指定制度を解説しております。

その5で小規模特認校制度について記しています。本制度は、法令に特別な定めがあるわけではありません。本来は、法令に基づき、市域に在住している児童・生徒は、必ず就学前に就学すべき学校を指定されることとなりますが、小規模特認校は、特認の対象となる学校の教育を受けたいと保護者が申し出た場合、本来の指定校を特認校に変更できるという条項を「就学指定校変更基準」に入れることで運用しています。

また、資料の2枚目をご覧ください。市のHPにも提示しています「就学指定校変更基準」の区分において、その他（特別事情）事由に該当させ、学校教育法施行令等の運用・解釈によって、市教育委員会の判断で行っている制度となっています。

本制度の実施初年度であった平成31年度は、対象学年を第1学年から第9学年までのすべての学年としていましたが、2年目以降は市内小・中学校の入学年度にあわせた設定とし、第1学年及び第7学年を対象学年として定めております。

次に定数についてお話をさせていただきます。今年度入学者（令和5年度入学者）は、小規模特認校の指定校変更としての申請実績は新1年生で11名、新7年生で4名でありました。この数字は、ほぼ例年どおりで来年度入学者においても大きな変動はないものと見込んでいます。

現在の定数について、学園としても特認校制度の導入によって、他地区からの入学者も加わり活性化し、指定校変更によって転学してきた児童・生徒も落ち着いて学習に取り組み、仲間づくりの点でも順調で大きな問題はないという認

識であります。よって、例年どおりの定員を保つための募集定員を設定しております。

来年度入学予定の新1年生の入学者数は学齢簿上40名で、過去の入学率と小規模特認校実施後の実績を考慮するとおそらく55名程度と考えます。新7年生の入学者数については、現6年生の49名に対し、私立中学校の進学希望者と他校からの小規模特認校による転入希望者を考慮すれば、ほぼそのまま変動はないものと考えております。以上の点を考慮しまして、来年度のはびきの埴生学園の特認校制度の運用に係る募集学年については、例年通り第1学年及び第7学年で実施とし、募集定員については、「新1年生は15名、新7年生は20名」とし、応募多数の場合は、兄弟関係がある児童生徒を優先枠として、その他の申請者で公開抽選を行う形でよろしいでしょうか。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

説明は以上となります。

《教育長》

調整区最大14名とは、どういうものですか。

《学校教育課長》

新1年生です。今の5歳児が調整区に住んでいる数です。この数は、毎年変わって、昨年は5名。その前の年は4名。その前の年は3名。来年度の新1年生だけ多いです。3クラス以上になると小規模にならないので定員を絞らなければと考えています。

《教育長》

家が建ったのかな。

《学校教育課長》

東除川の西に分譲地ができ家が建っています。そこも調整区です。

《教育長》

後期課程の7年生の入学が少ないよね。

《学校教育課長》

毎年、4名です。

《教育長》

特色ある教育をして、2クラスなので抽選するぐらいでもいいと思っています。それぐらいでないと思っています。

【採 決】全委員一致により原案どおりに可決することに決定しました。

日程第6 議案第28号

羽曳野市立生活文化情報センターのエアコン等の取得について

- 生涯学習部長より、資料に基づき、羽曳野市立生活文化情報センターのエアコン等の取得について説明があり承認を求めました。

《生涯学習部長》

羽曳野市立生活文化情報センターLICはびきのは、平成13年1月にオープンし、20数年が経過しています。当然のことながら空調設備においても老朽化が進み効率も低下しております。また、部品の供給期間の関係で故障時の対応に困難が生じる事態も想定されることから昨年度より、計画的にエアコンの入替を実施しております。今年度は、LICはびきの2階部分及び学習棟の1階部分の入替を予定しております。昨年度は、1階部分の入替をさせていただきました。

来年度以降は、3階部分と地下室であります電気室などの入替を予定しております。7月27日に入札を行いまして、株式会社スカイネットが最低価格で落札しており、仮契約は結んでいますが地方自治法第96条第1項第8号で購入予定価格が20,000,000円以上の場合は、議会の議決を求めることとなります。

今回、議会に提出するにあたり、教育委員会の意見の有無を確認させていただくため提出いたしました。

2枚目に2階の平面図を付けています。右端の四角の部分が学習棟の1階部分となっております。四角に×(☒)が付いている所が室内機の配置です。室外機は、屋外に設置します。

説明は以上です。よろしくお願ひします。

【採 決】全委員一致により原案どおりに可決することに決定しました。

日程第7 議案第29号

工事請負契約の締結について（羽曳野市立誉田中学校プール改修工事）

- 教育政策課長より、資料に基づき、工事請負契約の締結について（羽曳野市立誉田中学校プール改修工事）説明があり承認を求めました。

《教育政策課長》

羽曳野市立誉田中学校プール改修工事に係る工事請負契約の締結について、市

議会に議案を提出するため、本会議での議決を求めるものです。
請負金額が 150,000,000 円以上となる工事請負契約につきましては、地方自治法及び条例の定めにより議会の議決を求めることとなっております。
請負契約の工事名は、羽曳野市立誉田中学校プール改修工事。請負契約金額 156,528,900 円。契約方法は、制限付一般競争入札です。
受注者は 羽曳野市向野の株式会社誠廣 羽曳野支店です。
工期契約期間は、議決の翌日から令和 6 年 3 月 29 日です。
工事内容ですが、プール床下の鉄骨の腐食などの状況を受けまして、既設のプール及びプールサイドを撤去し、新たに整備をすることとなります。併せて、プールと民地との境界付近の整備を行います。参考に図面を添付しております。本工事が実施されますと、令和 6 年度からプール授業が再開されることとなります。
説明は以上です。よろしくお願いいたします。

【採 決】 全委員一致により原案どおりに可決することに決定しました。

日程第 8 議案第 30 号

羽曳野市中学校給食 全員喫食に向けた基本的な考え方（素案） について

- 食育・給食課課長補佐より、資料に基づき、羽曳野市中学校給食 全員喫食に向けた基本的な考え方（素案）について説明があり承認を求めました。

《食育・給食課課長補佐》

それでは、私からは、羽曳野市中学校給食 全員喫食に向けた基本的な考え方（素案）についてご説明いたします。

本年 5 月の教育委員会議におきまして、本市の中学校給食の全員喫食につきましては、開始時期を令和 7 年 2 学期からとさせて頂く事。調理方式を民間調理場活用方式（デリバリー方式）により行うこと。提供方法を小学校と同じく食缶方式により提供することについて、ご承認をいただいたところです。

今回は、それ以外の給食の提供方式などについて、お手元の事務局案のとおり取りまとめをいたしましたので、ご説明をさせていただきます。

なお、本日の委員会議にてご承認をいただきましたら、こちらを基本的な考え方として、教職員をはじめとした学校関係者の皆様、生徒児童の保護者の皆様にも順次ご説明をさせていただき、ご意見を頂戴していくことを考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、ご説明いたします。

まず 1 ページにおきましては、「1. はじめに」として、これまでの選択制中

学校給食のあゆみや課題、そして全員給食の必要性などについて記しています。次に「2. 基本的な考え方」では、安心・安全な栄養バランスに配慮した給食の提供、自然の恩恵や食に関わる人々への感謝の気持ちを持つことができる給食の提供など、羽曳野市の中学校給食における基本的な考え方を記しています。次に2ページ目以降において具体的な給食提供方式等を記載していますが、まず(1)提供方式としては、繰り返しになりますが、小学校給食と同様の食缶方式により提供することとしています。これらは、そこにも記載のあるとおり、食缶ではランチボックスと比べて温かい食事を提供できること、生徒個人に合わせた分量の調節が可能であることがメリットとして考えられ、また、将来的には現在計画の中の新給食センターにて中学校給食も調理をすることも想定されるため、食缶での提供とさせていただこうと考えているものです。

次に(2)食材・献立についてです。現在の選択制の中学校給食においては、献立は、市の栄養士や中学校配属の栄養教諭が中学校給食用の献立を立てていますが、食材については調理事業者が発注し、調理までを行う方式をとっています。これは、食材調達も調理事業者に任せることでコストダウンが図られ、現に、現在の中学校給食の調理事業者では、独自のノウハウを活用し、これまでより良い食材を効率的に仕入れていただいていると聞き及んでいます。近年の物価高騰などを踏まえると、今後事業者が変われば、品質が安定しなくなるかもしれないというリスクがあることも考えておかなければなりません。

そこで、中学校の全員喫食に際しましては、小学校給食と同様の献立とすることを基本とし、物資購入委員会などの小学校給食と同様の仕組みの中で食材を選定し、小学校と一緒に発注する方法をとるのが、最も安全安心な方式ではないかと考えています。また、現在の小学校給食では、アレルギー対策として、バランスよく栄養を摂取することを考えながらも、アレルゲンを含む食材の使用回数に配慮をしながら、全児童ができるだけ同じものを食べられるように工夫してきたという蓄積があります。したがって、中学校給食の全員喫食にあっても、小学校給食の献立を基本としながら、中学生に必要な栄養価をどのように献立に取り入れていくかを今後検討してまいりたいと考えています。

次に(3)調理・配送等についてですが、こちらも既にご承認をいただいておりますが、全員喫食化にあたっては、早期実現性や財政面、将来的な食数減少に伴う新センターでの統合が可能といったことを理由に、民間調理場活用方式(デリバリー方式)をとりたいと考えています。

次に(4)衛生管理については、学校給食衛生管理基準をはじめ、大量調理施設衛生管理マニュアルといった各種基準を遵守する能力を有する事業者を選定する事といたします。

(5)は食物アレルギー対策ですが、小学校給食と同様の献立内容とすることを基本としつつ、小学校におけるアレルギー対応の取組を参考にしながら安全対策の取り組みを行います。

次に3ページです。(6)配膳ですが、まず各学校への配送は調理事業者が行

い、それを各学校に置く配膳員が配膳室にて仕分けをします。その後の配膳室から各教室への運搬、教室での盛り付けについては、生徒がそれぞれ自分たちで行うことを想定しています。

(7) 実施時期は、約2年後の令和7年9月(2学期)から、全校一斉導入を図ることとします。

次に(8) 給食費と支払い方法ですが、学校給食法の規定に基づき、食材費を保護者負担とし、その他の人件費や光熱水費、修繕費等は市が負担します。なお、給食費の金額については、現在の選択制給食が1食300円ではありますが、昨今の食材費の高騰を踏まえながら、今後具体的な金額を検討してまいります。また、給食費の支払い方法については、小学校給食と同じく原則口座引き落としとし、具体的な給食費の徴収方法等についても今後検討してまいりたいと思っています。

最後に(9) 食育指導についてです。これまでは生徒がそれぞれ異なるものを昼食として食べていましたが、今後は原則同じものを皆で一緒に食べることとなります。したがって、これからはそうした機会をとらえて、教育活動の一環として、食に対する理解の促進を図りつつ、地域の特産品や行事食の紹介などを通じて、しっかりと食育指導を行ってまいりたいと考えています。

最後に4ページですが、実施までのスケジュールを記しています。

配膳室の改修といったハード整備は時間を要すること、学校での工事はできるだけ夏休みなどに行いたいことなどから、令和5年度(今年度)からその実施設計を行い、令和6年度と7年度の2か年をかけて工事を行いたいと考えています。そのほか、給食調理等を委託する事業者等の選定や教職員への研修、アレルギー委員会の設置などを令和6年度に行い、令和7年2学期から全員喫食を開始する予定とさせていただいています。

なお、こうした事情から、次回の9月の市議会において、中学校配膳室の改修工事にかかる実施設計費用について、補正予算の計上をさせていただきたいと考えています。

中学校給食全員喫食に向けた基本的な考え方(素案)についての説明は以上となります。ご審議方、よろしく申し上げます。

《多田委員》

購買は、残るのですか。撤去ですか。

《食育・給食課課長補佐》

撤去になると思います。

《教育長》

今後、話し等をしていきます。ある程度の話しはしています。また、多分、分かっていると思います。ただ、最終的な同意の段階でどうなるかは分かりませ

んが。今は、3つありますね。内の1つは購買を辞めたのですが、近くにコンビニがないので、保護者から全員給食が始まるまでやってほしいと要望しそれまでは、やることになっています。そこは、問題ないと思います。菅田中学校と河原城中学校の購買ですが、話はいつているので大丈夫だと思います。

《多田委員》

育ち盛りの子ども達なので、量が足りないとかがあると思いますが、そんな時は自分で持ってきて良いという仕組みになっているのですか。

《教育長》

なってないと思います。

《多田委員》

量が足りないから購買でパンを買うだとか。中学生になると食べる量に差があると思いますが。

《教育長》

やってみないと分かりませんが、配膳の時に量を多くするとか、少なくすることをOKにするのかどうかですね。

《食育・給食課課長補佐》

ランチボックスでは、出来ないが給食で食缶になればある程度は対応できると思います。

《古山委員》

そういう事を食育でやれば良いと思います。同じ量を食べることが平等ではなく、その子にあった量で満足するのが平等かなって思います。

《学校教育課理事》

小学校の時に牛乳が嫌いだから止めて下さいと申し出があっても食育の観点から断っていた。学校給食法は食育がメインです。ここに学校給食法に準じてという事を記載している方が良いと思います。

【採 決】 全委員一致により原案どおりに可決することに決定しました。

日程第9 議案第31号

仮称) 第3こども園整備基本計画の策定について

- こども保育課長より、資料に基づき、仮称) 第3こども園整備基本計画の策定について説明があり承認を求めました。

《こども保育課長》

私からは、議案第31号「(仮称) 第3こども園基本計画の策定について」、ご説明いたします。

(仮称) 第3こども園は、「就学前教育・保育のあり方に関する基本方針」に基づき、現在の下開保育園、古市幼稚園、古市南幼稚園、駒ヶ谷幼稚園を統合し、羽曳野市において3番目となるこども園を開設しようとするものです。

本日、皆様にご確認いただきます基本計画を策定後、基本設計、実施設計を経て工事に着手し令和8年4月に開設予定です。

お手元の資料は、(仮称) 第3こども園基本計画の概要版です。計画全文は36ページの内容となっております。本日は、概要版でご説明いたします。

まず、背景・目的では、「就学前児童数の減少」、「保育ニーズ、低年齢児の利用ニーズが高い傾向であること」、「施設の老朽化」、「園児数の大幅な減少により幼児教育における適正な集団規模の確保が困難な状況であること」などから(仮称) 第3こども園を建設することとしています。

次に、施設概要につきまして、定員は175人を想定しています。

右側の表をご覧くださいますと、2号・3号認定いわゆる保育にかかる部分は、現在の下開保育園の認可定員をそのまま維持しています。

1号認定いわゆる教育にかかる部分は、今回統合する古市幼稚園、古市南幼稚園、駒ヶ谷幼稚園のここ数年の園児数の平均値が補えるよう各25名としています。

次に計画地についてお示ししておりまして、現在の下開保育園に隣接する位置となります。

スケジュールは、本計画策定後、基本設計、実施設計を経て令和6年度下半期頃には工事に着手し、1年3か月程度の工事期間を経て令和7年12月の完成を目指します。その後、3か月程度の準備期間を設けて、令和8年4月の開設としています。また、開設以降に現在の下開保育園の解体と隣接する公園整備を進める予定です。

基本コンセプトは、大きく5点です。

1. こどもの動線整備、2. 木の素材を生かした保育環境の整備、3. 災害に備えた施設整備、4. こどもの育ちを支える環境の整備、5. 地域につながる公園整備です。

整備計画案につきましては、園長会議などで可能な限り現場の意見を伺いながら、案を作成しています。

園舎については、園全体を見渡しやすいようL字型とし、こどもの安全やプライバシーなどの観点から園庭は公園に面しない位置としています。駐車場は、南側に配置することでさらに南側にある府営住宅との距離を保つことができます。

保育室はできるだけ南向きとし低年齢児を1階とします。乳児用に園庭とは別に小園庭を設けます。浸水対策としまして、2階の屋根に避難できるスペースを設けます。また、環境配慮として、太陽光発電を設置します。

今後の検討としましては、3歳児の保育室を1階とするか2階とするか、園児の下足箱を玄関にまとめるか、テラス側に設けるかなど運営面と合わせて検討することとします。

裏面を見て頂きますと立体のイメージ図があります。

最後に概算事業費は、1,109,927,400円と積算しています。

説明は以上です。

《教育長》

これによって、古市幼稚園、古市南幼稚園、駒ヶ谷幼稚園が整理されます。下開保育園も閉園し隣ですが統合されます。

幼稚園が25名ですので抽選になるかもしれません。向野こども園も園児が増えています。

《こども保育課長》

そうですね。こども園の1号認定の希望が増えています。

【採 決】 全委員一致により原案どおりに可決することに決定しました。

日程第10 その他

- (1) こども保育課長より、令和6年度の東地区3幼稚園保護者への意向調査について報告がありました。
- (2) 学校教育課長より、小・中・義務教育学校の運動会の参加について連絡がありました。
- (3) 学校教育課長より、卒業式が小学校は、令和6年3月15日(金)、中学校及び義務教育学校は、令和6年3月13日(水)に開催されること。また、令和6年度4月の校園長会が令和6年4月10日(水)午後から開催されることの報告がありました。
- (4) 食育・給食課課長補佐より、小学校給食における異物混入マニュアルについて報告がありました。
- (5) 事務局より、今後の日程について連絡がありました。

教育長より次回の9月定例教育委員会議を、9月22日（金）に予定することを通知しました。

[教育長 閉会の挨拶]

閉会：午前11時50分